

令和2年度「多様な世代が集う交流拠点としての スタジアム・アリーナ」選定案件一覧

施設名称	カテゴリ	評価ポイント
ES CON FIELD HOKKAIDO (北広島ボールパーク)	スタジアム	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツホルダー（ファイターズ）の夢が詰まったコンテンツ力を最大化する事業設計 ・一日中滞在できる複合レジャー施設化を目指すボールパーク構想
FLAT HACHINOHE	アリーナ	<ul style="list-style-type: none"> ・アイスアリーナ/通常アリーナどちらでも使用できる工夫された施設設計 ・市が年間利用枠を30年間に亘って購入することで固定収入を確保するという斬新なスキーム
横浜市文化体育館	アリーナ	<ul style="list-style-type: none"> ・PFI方式を導入し、官民が知恵を出し合って実現した「する」と「みる」のベストミックス ・メインアリーナとサブアリーナをはず向かいに設置し、まちに回遊性や賑わいを果たせる計画
ヨドコウ桜スタジアム (大阪市立長居球技場)	スタジアム	<ul style="list-style-type: none"> ・行政資金に頼らず、民間主導で新スタジアムを核とした長居公園全体の活性化を図る ・スポーツ関係者や行政との連携、敷地の形状や方向を考慮した設計、収支計画の具体的な検討などが特に評価できる
東大阪市花園ラグビー場	スタジアム	<ul style="list-style-type: none"> ・公園内に立地するスタジアムを核として、公園全体の活性化を図っている ・デジタル技術を活用したラグビーミュージアムやピッチサイド食堂など、ユニークな付帯施設を提案
ノエビアスタジアム神戸	スタジアム	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者がグループ会社（楽天グループ）のリソースを活用して既存施設を改修し、魅力度向上 ・完全キャッシュレス化など、先進的な技術を積極的に導入・検討
FC今治新スタジアム	スタジアム	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツホルダーであるFC今治が主体的にプロジェクトを牽引 ・地域資源を活用した「里山スタジアム」という独特なコンセプト
ミクニワールドスタジアム北九州 (北九州スタジアム)	スタジアム	<ul style="list-style-type: none"> ・国内で初めて、PFI方式（民間活力の活用手法）を採用したスタジアム整備 ・各評価項目における検討や調査を確実に実施している
SAGAアリーナ	アリーナ	<ul style="list-style-type: none"> ・多くのステークホルダーや専門家の意見を聴取し、全庁的な検討体制で検討を進めている ・プロジェクトに対する佐賀県のコミットメントが高く、事業スキームと収支計画が安定
アイシンアリーナ（仮称）	アリーナ	<ul style="list-style-type: none"> ・アイシングループ企業全体でアリーナ整備・運営に深くコミットする事業 ・民設民営でありながら、公共財としての側面も重視して地域利用も想定する運営
長崎スタジアムシティプロジェクト	スタジアム アリーナ	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎駅前に民間事業者（ジャパネット）が街を丸ごと一つ作ろうという壮大なプロジェクト ・アリーナ、商業施設、ホテル、学校（P）オフィス等のあらゆる生活施設を周辺に配置